

4 日野市が今後 10 年間で特に力を入れるべき取り組み

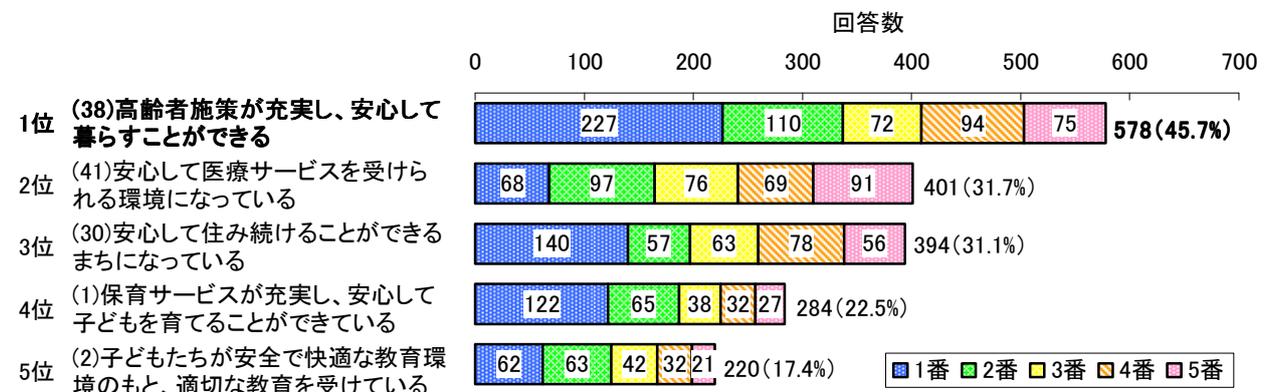
Q あなたは、日野市が今後 10 年間で特に力を入れるべき取り組みとして、どの様なものを望みますか。質問項目 (1) ~ (43) の中※から優先順位の高い順に番号を記入してください。

※ : P. 32、33 に示した評価項目

a) 全体集計

「(38) 高齢者施策が充実し、安心して暮らすことができる」という回答が最も多く、578 人が回答し、全回答者の 45.7% を占めています。

次いで、「(41) 安心して医療サービスを受けられる環境になっている」が 401 人 (31.7%)、「(30) 安心して住み続けることができるまちになっている」が 394 人 (31.1%) などとなっています。



※()内は全回答者数(1,265)に占める回答者数の割合

○今後10年間で特に力を入れるべき取組み（全評価項目の順位）

		回答数					合計	割合 (%)※	回答数 0 200 400 600
		1番	2番	3番	4番	5番			
1位	(38)高齢者施策が充実し、安心して暮らすことができる	227	110	72	94	75	578	45.7	
2位	(41)安心して医療サービスを受けられる環境になっている	68	97	76	69	91	401	31.7	
3位	(30)安心して住み続けることができるまちになっている	140	57	63	78	56	394	31.1	
4位	(1)保育サービスが充実し、安心して子どもを育てることができる	122	65	38	32	27	284	22.5	
5位	(2)子どもたちが安全で快適な教育環境のもと、適切な教育を受けている	62	63	42	32	21	220	17.4	
6位	(22)健全な財政運営が行われている	46	49	36	23	44	198	15.7	
7位	(32)地震や水害などの自然災害への施設等の備えが充実している	32	38	48	45	31	194	15.3	
8位	(36)駅(バリアフリー化等)や駅前(広場・駐輪場等)が充実している	34	37	37	43	28	179	14.2	
9位	(27)自然(緑、川、用水等)とふれあえる環境が保たれている	16	32	55	41	25	169	13.4	
10位	(23)商業・工業に活力があり、持続的に発展している	22	26	38	43	35	164	13.0	
11位	(33)いざというときには、直ぐに救急車や消防車がきてくれる	17	24	47	32	30	150	11.9	
12位	(37)バスの本数やルートが充実している	15	29	32	36	35	147	11.6	
13位	(19)市民の視点に立ち、効率的かつ効果的な行政運営が行われている	25	28	29	30	28	140	11.1	
14位	(21)市職員一人ひとりが市民の視点に立って働いている	7	27	31	31	39	135	10.7	
15位	(34)幹線道路や生活道路が適切に整備維持され、安全・快適に道路を利用できる	25	34	20	34	20	133	10.5	
16位	(5)子どもたちが安心して遊び、学ぶ場がある	25	28	30	22	21	126	10.0	
17位	(43)生活に困窮している市民が自立した生活に向けた支援を受けることができる	21	21	16	18	46	122	9.6	
18位	(11)気軽にスポーツ・健康づくりを行うための施設・設備がある	22	18	24	23	32	119	9.4	
19位	(40)市民が健康に関心を持ち、健康づくりに取り組むための行政サービスを受けることができる	6	28	29	25	29	117	9.2	
20位	(28)きれいな水や空気、騒音やポイ捨てがないなど、良好な生活環境が確保されている	6	21	39	25	24	115	9.1	
21位	(42)必要に応じて健康診断や予防接種などの保健予防サービスを受けることができる	4	25	23	18	33	103	8.1	
22位	(39)障害者が支援サービスなどを利用しながら住み慣れた地域で安心して暮らしている	10	27	18	23	24	102	8.1	

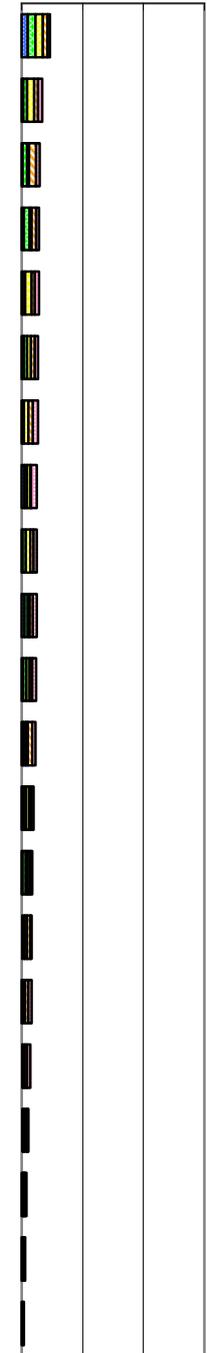
※全回答者数(1,265)に占める回答者数の割合



23位以降は次ページに掲載

		回答数						割合 (%)※
		1番	2番	3番	4番	5番	合計	
23位	(3)青少年が心豊かに成長する環境が整えられている	21	24	25	15	9	94	7.4
24位	(26)下水道が整備され、清潔な生活環境が維持されている	7	12	22	12	15	68	5.4
25位	(31)市民と行政の協働による防災体制が構築できている	5	13	6	23	14	61	4.8
26位	(4)障害がある子どもがその個性や能力に応じた教育を受けている	9	17	8	13	11	58	4.6
26位	(25)農業に活力があり、持続的に発展している	4	8	22	9	15	58	4.6
28位	(14)市民参加機会が充実し、市政に対して意見を述べるができる	9	9	13	13	10	54	4.3
29位	(29)市民や企業がごみの減量やリサイクルに取り組んでいる	1	7	14	16	15	53	4.2
30位	(6)市民が芸術・文化活動に取り組む機会と場がある	11	7	11	2	19	50	4.0
30位	(16)自治会や町内会などが活発に活動している	5	9	14	11	11	50	4.0
32位	(10)年齢や体力に応じて参加できる様々なスポーツの機会がある	10	10	7	11	11	49	3.9
33位	(12)人権に関する意識が高まり、お互いに尊重し合う社会になっている	7	10	9	9	13	48	3.8
34位	(13)市政の現状や各種計画、イベントなどの情報が分かりやすく提供されている	7	8	6	15	9	45	3.6
35位	(9)図書館が市民の生涯学習の拠点になっている	7	8	9	8	8	40	3.2
36位	(7)市民が自ら集い、学べる施設(公民館など)が充実している	5	9	6	9	6	35	2.8
37位	(35)浸水被害のない安全なまちになっている	3	7	9	9	6	34	2.7
38位	(18)届出や申請の電子化が進み、行政サービスを便利に、快適に利用できている	6	4	3	10	10	33	2.6
39位	(24)観光の魅力が高く、多くの観光客が訪れている	2	3	5	8	10	28	2.2
40位	(17)ボランティアやNPOなどが活発に活動している	2	7	8	3	3	23	1.8
41位	(15)市民間の交流が活発に行われる場や機会がある	0	7	2	3	4	16	1.3
42位	(8)国際交流をする場がある	1	4	4	2	2	13	1.0
43位	(20)広域的な課題や公共施設の共同利用などについて他の市と連携して取り組んでいる	1	0	3	1	3	8	0.6

回答数
0 200 400 600



※全回答者数(1,265)に占める回答者数の割合

1番 2番 3番
4番 5番

b) クロス集計

年齢、地区、同居者の違いによる、「今後10年間で特に力を入れるべき取組み」の評価に関する違いを分析するため、43の評価項目における順位（回答数により算出）について、全体、年齢別、地区別、同居者別に並べて比較を行いました（下表）。

全体の集計については1位～43位まですべての順位を示し、年齢別、地区別、同居者別の集計については上位5位の順位のみ掲載しています。

※同率の場合は同一順位としています。このため、同一の順位が複数みられる場合があります。

なお上位5位については¹のように色を変えて表現しています。

○今後10年間で特に力を入れるべき取組み（年齢・地区・同居者別の上位5位の比較）

(位)

	全体	年齢							地区										同居者		
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	地区Ⅰ	地区Ⅱ	地区Ⅲ	地区Ⅳ	地区Ⅴ	地区Ⅵ	地区Ⅶ	地区Ⅷ	地区Ⅷ	地区Ⅸ	地区Ⅹ	65歳以上の方がいる	中学生以下の子供がいる
(1)保育サービスが充実し、安心して子どもを育てることができる	4	1	3	4	4	4		3	4	5				4	4	4	3	4	5	4	
(2)子どもたちが安全で快適な教育環境のもと、適切な教育を受けている	5	5	5	5	5				5	4	4	4						5	3	5	
(3)青少年が心豊かに成長する環境が整えられている	23																				
(4)障害がある子どもがその個性や能力に応じた教育を受けている	26																				
(5)子どもたちが安心して遊び、学ぶ場がある	16																				
(6)市民が芸術・文化活動に取り組む機会と場がある	30																				
(7)市民が自ら集い、学べる施設（公民館など）が充実している	36																				
(8)国際交流をする場がある	42																				
(9)図書館が市民の生涯学習の拠点になっている	35																				
(10)年齢や体力に応じて参加できる様々なスポーツの機会がある	32																				
(11)気軽にスポーツ・健康づくりを行うための施設・設備がある	18																				
(12)人権に関する意識が高まり、お互いに尊重し合う社会になっている	33																				
(13)市政の現状や各種計画、イベントなどの情報が分かりやすく提供されている	34																				
(14)市民参加機会が充実し、市政に対して意見を述べることができる	28																				
(15)市民間の交流が活発に行われる場や機会がある	41																				

※（16）以降は次ページに掲載

地区Ⅰ：高幡、三沢、落川
 地区Ⅱ：程久保、南平（1564）、百草
 地区Ⅲ：新井、石田、下田、万願寺、上田、宮
 地区Ⅳ：川辺堀之内、東豊田、豊田、神明
 地区Ⅴ：日野、日野本町

地区Ⅵ：南平（1丁目～9丁目）
 地区Ⅶ：平山、西平山
 地区Ⅷ：東平山、旭が丘、富士町
 地区Ⅸ：多摩平
 地区Ⅹ：大坂上、日野台、栄町、新町

【参考】回答者の年齢構成を補正した分析

今回のアンケートでは、「1 回答者の属性」(2) (P.3) で示した年齢別の構成比のとおり、高齢者の回答の割合が高くなっています。そのため、回答者の年齢構成と実際の市民の年齢構成を合わせるため、母集団（住民基本台帳人口）をもとに年齢別に回答数を補正した集計結果による分析を行います。

補正による回答数は、

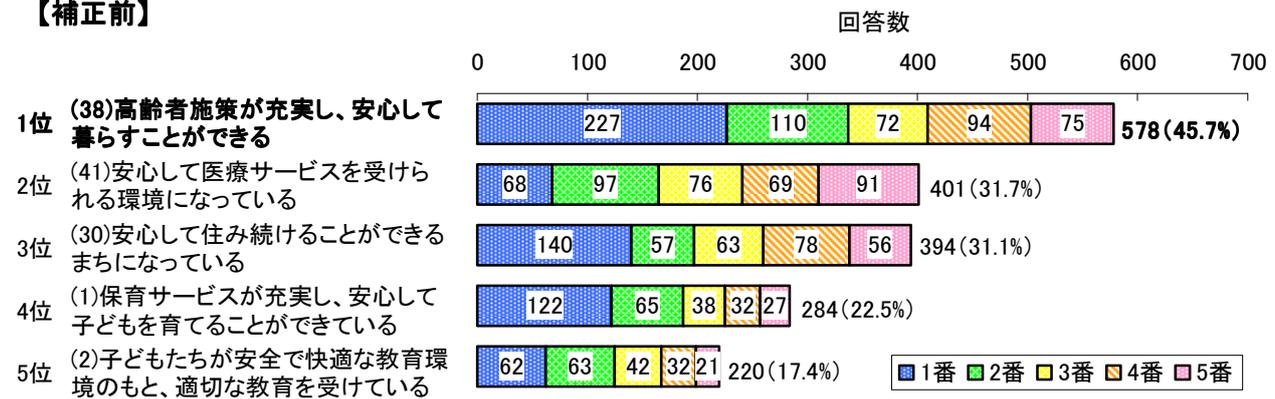
- ①年齢別に補正係数を算出(母集団における年齢の構成比(B:%) / 回答者の年齢の構成比(A:%))
 - ②年齢ごとの評価項目の回答数に、①の補正係数を乗じる
 - ③②の回答数を合計する
- といった方法により算出しています。

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
アンケート	回答者数	56	59	71	176	387	363	146	7	1,265
	割合(A)	4.4%	4.7%	5.6%	13.9%	30.6%	28.7%	11.5%	0.6%	100.0%
市の年齢別人口(住基)	実数	21,542	28,460	24,959	19,578	23,861	16,522	8,192	0	143,114
	割合(B)	15.1%	19.9%	17.4%	13.7%	16.7%	11.5%	5.7%	0.0%	100.0%
補正係数(B)/(A)		3.38	4.24	3.09	0.98	0.54	0.40	0.49	1.00	-
補正後の回答者数		189.4	250.2	219.4	172.1	209.7	145.2	72.0	7.0	1,265

※補正後の回答者数は、アンケートの回答者数に補正係数を乗じて算出するため、小数となる

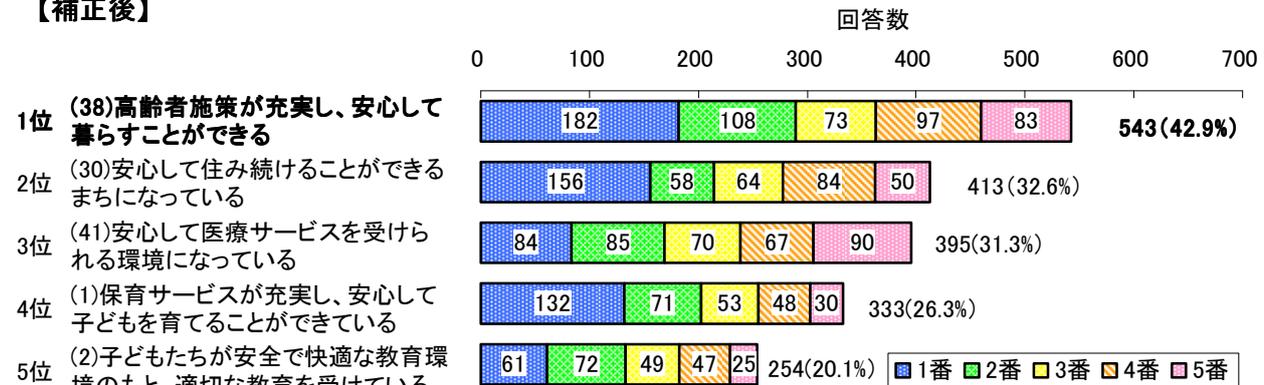
補正による集計結果は以下のとおりです。

【補正前】



※()内は全回答者数(1,265)に占める回答者数の割合

【補正後】



※()内は全回答者数(1,265)に占める回答者数の割合

本設問で年齢別の補正を行った結果、2位と3位の順位は入れ替わったものの、回答の割合の差はあまりみられません。ゆえに、全体で上位に挙げられた評価項目は、高齢者のみならず幅広い年齢で「優先順位の高い取り組みであると考えられている」といえます。